資料第９号

障害者虐待リスクアセスメントシート（案）

	あてはまる場合には（）に〇を記入し、該当するものを〇印で囲む あてはまらない場合は×。情報が未収の場合は？。	関連情報、あるいは強みや良い点を記入
基本項目	被虐待者は意思疎通が可能か？ （　　）できる　　×の場合：（　　）	
最重度	①　当事者が保護を求めているか？ （　　）被虐待者自身が保護を求めている （　　）虐待者が障害者の保護を求めている	
	②　当事者の訴える状況が差し迫ったものか？ （　　）「殺される」「〇〇が怖い」「何も食べてない」等の訴えあり （　　）「何をするかわからない」「殺してしまうかもしれない」等の訴えあり （　　）性的虐待が疑われる	
	③　すでに重大な結果が生じているか？ （　　）例：頭部外傷（血種・骨折）　腹部外傷　意識混濁　重度の褥瘡　思い脱水症状 脱水症状の繰り返し　栄養失調　全身衰弱　強い自殺念慮　その他	
重度	④　今後の重大な結果が生じるおそれの高い状態が見られるか？ （　　）頭部打撲　顔面打撲・腫脹　不自然な内出血　やけど　刺し傷　きわめて非衛生 極端な怯え　その他	
	⑤　繰り返される恐れが高いか？ （　　）習慣的な暴力　新旧の傷・あざ　入退院の繰り返し　その他 （　　）虐待者の認識：虐待の自覚なし　認めたがらない　援助者との接触回避 （　　）虐待者の精神的不安定・判断力の低下・非現実的な認識・その他	
中度	⑥　虐待者に虐待につながるリスク要因があるか？ （　　）被虐待者への拒否的感情や態度（　　） （　　）重い介護負担感（　　） （　　）介護疲れ（　　） （　　）障害と介護に関する知識・技術不足（　　） （　　）生活的問題（偏り）：衝動的　攻撃的　未熟性　支配的　依存的　その他 （　　） （　　）障害・疾患：知的障害　精神疾患（　　）依存症（　　）その他 （　　）経済的問題：低所得　失業　借金　被虐待者への経済的依存　その他	
軽度	⑦　虐待につながる家庭状況があるか？ （　　）長期にわたる虐待者・被虐待者の不和の関係 （　　）虐待者・被虐待者の共依存関係 （　　）虐待者が暴力の被害者 （　　）虐待を抑制できる人が身近にいない（その他家族・親族が無関心） （　　）住環境の悪さ：狭い　被虐待者の居室なし　非衛生的　その他	

判断の目安：最重度　①～③に〇がある場合→緊急保護の検討　重度　①～③に〇がないが、④と⑤に〇→保護の検討、又は集中的援助

中度　①～⑤には〇がなく⑥に〇→集中的援助、又は防止の為の保護の検討

軽度　①～⑥に〇がなく⑦に〇→継続的、総合的援助

※川崎市作成のものをもとに作成